

## 製品名: アペリンウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00487

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	-

### 抗原情報

遺伝子名	APLN
別名	APLN; APEL; Apelin; APJ endogenous ligand
遺伝子 ID	8862
SwissProt ID	Q9ULZ1
免疫原	抗血清はヒト APLN の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 28-77

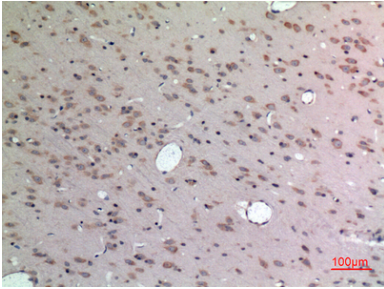
### 背景

アペリン受容体 (APLNR) の内因性リガンド。

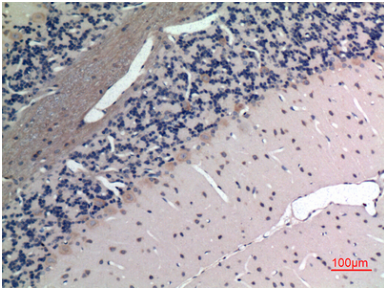
## 研究分野

神経科学

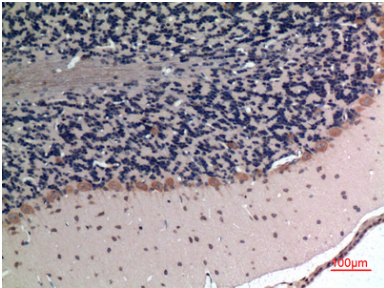
## 画像データ



アペリン抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アペリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アペリン抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。